

# 大阪医科大学学報

第51号 平成14年2月  
(インターネット版)



年賀交歓会(1月4日)

(27頁に関連記事)

## 目次

規程関係 .....	2	受賞 .....	25
寄附金 .....	7	法人公式ホームページリニュアル .....	25
学位記授与 .....	19	市民公開講座 .....	26
文部科学省科学研究費補助金・ 学術奨励金について .....	21	学内行事 .....	27
職場紹介 .....	22	会議・行事予定 .....	28
海外出張記 .....	24	病院内ローソン開店にあたって .....	31
		俳句 .....	33

# 規程関係

## 規程制定

学校法人大阪医科大学ホームページ公開指針の制定について  
学校法人大阪医科大学ホームページ公開指針が次の通り制定されました。

### 学校法人大阪医科大学ホームページ公開指針

#### 1. 目的

この指針において、学校法人大阪医科大学ホームページ（以下「法人ホームページ」という。）をはじめとする法人ウェブサイト全体（以下「ウェブサイト」という。）の円滑な運用を図るために必要な事項を定めます。

#### 2. ウェブサイト

ウェブサイトは、法人ホームページとその配下にリンクする各教室・部署・委員会・関連団体等（以下「各所属」という。）が作成したホームページ（以下「各所属サイト」という。）で構成されます。

なお、この指針に定義されるウェブサイトは「osaka-med.ac.jp」のドメイン名で運用されます。

上記の規定にかかわらず、各所属はインターネット・サービス・プロバイダー等の外部サーバーに各所属サイトを設置（以下「外部サーバー内設置の各所属サイト」という。）し、法人ホームページあるいはウェブサイトとのリンクを求めることができます。

#### 3. 委員会

学校法人大阪医科大学HP委員会（以下「委員会」という。）は、法人ホームページの作成・維持・管理およびウェブサイトの監督にかかる職務等、学校法人大阪医科大学ホームページ運営規程第五条に定める職務を行います。法人ホームページ内の「各教室・部署・委員会のHP」のコーナーのウェブページから各所属サイトに新たにリンクを希望するとき、リンク先を変更するとき、リンクを廃止するときは委員会委員長へ届け出てください。

#### 4. 運用責任者

各所属サイトの円滑な運用を期すとともに委員会との連絡調整にあたるために、各所属毎に各所属サイトの運用責任者1名を置きます。運用責任者は学内の各所属においては医学情報処理センター利用者代表があたるものとします。医学情報処理センター利用者代表が置かれていない所属で新たにホームページを立ち上げる場合は、必ず事前に医学情報処理センター利用者代表の選任を行ってください。なお、学外の各所属（関連団体等）においては、必ず各所属の責任において運用責任者を決定し委員会委員長に届け出てください。

#### 5. 副運用責任者

運用責任者は、自らの所属から副運用責任者1名を指名し、学内の各所属については医学情報処理センターに、学外の各所属については委員会委員長に届け出てください。なお、運用責任者は副運用責任者が交代するときも指名の場合と同様に届け出てください。

副運用責任者は、運用責任者を補佐し、運用責任者不在時には委員会または医学情報処理センターとの連絡など運用責任者の職務を代行するものとします。

## 6. ページ作成者

運用責任者は、各所属サイトの全ウェブページについて、その作成者（以下「ページ作成者」という。）及び連絡先を把握し、その掲載内容等について指揮・監督しなければなりません。

なお、ページ作成者はその掲載情報の内容を常に最新かつ適切な状態に保つよう努めてください。

## 7. 掲載禁止事項

ウェブサイトへ掲載できる情報は、研究・教育・交流活動等を推進し、法人内の各機関の各種情報の公開を支援するウェブサイト設置の趣旨に沿ったものに限られます。公序良俗に反するもの、事実を反するもの、学内及び社会の秩序を乱すもの、プライバシー等の人権を侵害するもの、個人情報等の機密事項の漏洩を目的とするもの、商業的行為や政治・宗教活動等を目的とするものは禁止します。

また、各所属サイトから上記の掲載禁止事項を含む他者が作成したホームページへリンクすることは、掲載する場合と同様に禁止します。

## 8. 改善勧告・削除

ウェブサイトに掲載された情報の内容が、前項に違反するものと委員会が判断したときは、委員会はその情報が掲載された各所属サイトの運用責任者に対し、改善勧告を行います。ただし、掲載された情報が、他者に対し急迫不正の侵害を及ぼす危険性があるなど、委員会が極めて悪質と判断した情報については、事前の通告なく該当するウェブページあるいは各所属サイトのリンクの解除あるいはファイルの削除を行うことがあります。

なお、運用責任者による適正な管理が行われ、内容に問題がない場合でも、ウイルスに感染するなど、ウェブサイト保安上の障害となる場合は、委員会の判断において削除を行うことがあります。

上記の規定にかかわらず、外部サーバー内設置の各所属サイトについては、委員会はリンクの解除のみを行います。

## 9. 指針の改廃

この指針の改廃は、委員会の議を経て、教授会及び理事長が承認します。

なお、この指針に定めることの他、ウェブサイトの運用について必要な事項は委員会が定めます。

**附 則** この指針は平成13年11月1日から施行する。

**規程改正**

学校法人大阪医科大学事務組織並びに事務分掌規程の改正について  
 学校法人大阪医科大学事務組織並びに事務分掌規程が次の通り改正されました。

**学校法人大阪医科大学事務組織並びに事務分掌規程（新旧対照表）**

新	旧
<p><b>第2条</b> 前条の事務を行うため、次の部、課等を置く。</p> <p><u>法人企画室</u> <u>法人監査室</u></p> <p>総務部            総務課                          人事課                          財務課                          管財用度課                          研究協力課 （学生部）        学務課 病院事務部        病院サービス課                          医事課                          施設課                          栄養給食課 病院薬剤部        薬剤課 病院看護部 病院医療情報部 病院医療相談部 図書館            図書館課 附属看護専門学校</p> <p><u>これ以外に法人は、必要に応じ臨時の部課等を置くことがある。</u></p>	<p><b>第2条</b> 前条の事務を行うため、次の部、課等を置く。</p> <p>総務部            <u>企画課</u>                          総務課                          人事課                          財務課                          管財用度課                          <u>研究協力室</u> （学生部）        学務課 病院事務部        病院サービス課                          医事課                          施設課                          栄養給食課 病院薬剤部        薬剤課 病院看護部 病院医療情報部 病院医療相談部 図書館            図書館課 附属看護専門学校</p>
<p><b>（職制）</b></p> <p><b>第3条</b> 部（室）、課及び室にそれぞれ長（<u>事務長</u>）を置き、必要に応じ部（室）に部長（<u>室長</u>）代理、課に課長（<u>事務長</u>）代理を置くことができる。</p> <p>2 診療部門その他の職員については、技師長、技師長代理、<u>管理婦長</u>、婦長及び婦長代理を置くことができる。</p>	<p><b>第3条</b> 部、課及び室にそれぞれ長を置き、必要に応じ部に部長代理、課に課長（<u>事務長</u>）代理及び室に<u>室長代理</u>を置くことができる。</p> <p>2 診療部門その他の職員については、技師長、技師長代理、婦長及び婦長代理を置くことができる。</p>
<p><b>第5条</b> 各部課等においては、次の事務を所掌する。</p> <p><u>法人企画室</u></p> <p>1 <u>法人の事業計画案の立案、作成に関すること。</u></p> <p>2 <u>法人の組織及び職制の改善計画の計画立案に関すること。</u></p>	<p><b>第5条</b> 各課においては、次の事務を所掌する。</p>

<p>3 <u>法人の管理運営等に係る調査に関すること。</u></p> <p>4 <u>法人の経営計画の管理遂行に関すること。</u></p> <p>5 <u>法人の関連会社の管理・運営に関すること。</u></p> <p>6 <u>その他、法人の企画・調整に係る事務に関すること。</u></p> <p><b>法人監査室</b></p> <p>1 <u>法人の内部監査制度の立案に関すること。</u></p> <p>2 <u>会計監査、業務監査等の実施に関すること。</u></p> <p>3 <u>監査に係る調査に関すること。</u></p> <p>4 <u>その他、法人内の監査に付帯する事務に関すること。</u></p> <p>総務部 研究協力課</p>	<p><b>総務部 企画課</b></p> <p>1 <u>法人の経営に付帯する組織、人事及び予算の大綱の作成並びに企画、立案、執行に関すること。</u></p> <p>2 <u>施設拡充及びこれに付帯する事務に関すること。</u></p> <p>3 <u>監査に付帯する事務に関すること。</u></p> <p>4 <u>法人に関わる広報に関すること。</u></p> <p>5 <u>法人の経営に付帯する調査に関すること。</u></p> <p>6 <u>関連会社の管理・連絡に関すること。</u></p> <p>7 <u>その他、法人の企画・調整に係る事務全般に関すること。</u></p> <p>総務部 研究協力室</p>
<p><b>附 則</b></p> <p>この改正は、平成13年11月16日から施行する。</p>	

学校法人大阪医科大学附属病院血液浄化センター規程の改正について  
 学校法人大阪医科大学附属病院血液浄化センター規程が次の通り改正されました。

**学校法人大阪医科大学附属病院血液浄化センター規程（新旧対照表）**

新	旧
<p><b>第3条</b> 血液浄化センターに、次の各号に掲げる職員を置く。</p> <p>一 センター長（<u>専任又は兼任</u>）</p> <p>二 副センター長（<u>専任又は兼任</u>）</p> <p>三 医師（専任又は兼任）</p> <p>四 看護婦</p> <p>五 技術職員等</p>	<p><b>第3条</b> 血液浄化センターに、次の各号に掲げる職員を置く。</p> <p>一 センター長（兼任）</p> <p>二 副センター長（専任）</p> <p>三 医師（専任又は兼任）</p> <p>四 看護婦</p> <p>五 技術職員等</p>
<p>2 センター長は、<u>選考委員会</u>が推薦し、教授会の承認を得て理事長が委嘱する。<u>なお、</u></p>	<p>2 センター長は、<u>病院長</u>が推薦し、教授会の承認を得て理事長が委嘱する。<u>その任期は</u></p>

## 規程関係

<u>選考委員会については、別に定める。</u>	<u>2年とし、再任を妨げない。</u>
4 副センター長は、臨床の助教授、講師もしくは助手のうちからセンター長が推薦し、 <u>理事長が委嘱する</u> 。その任期は2年とし、再任を妨げない。	4 副センター長は、臨床の助教授、講師もしくは助手のうちからセンター長が推薦し、 <u>学長が委嘱する</u> 。その任期は2年とし、再任を妨げない。
<u>附 則</u> この改正は、平成13年11月27日から施行する。 <u>附 則</u> この改正は、平成14年1月15日から施行する。	

## 本学附属病院新総合棟建築事業に係る寄附金の応募状況について

項目 区分	寄附金	
	件数	総額(円)
本法人役員・評議員	9	4,934,920
教職員	21	1,745,000
仁泉会会員	106	25,510,000
白友会会員	54	2,698,000
学生保護者	7	2,200,000
法人等(個人、一般含む)その他	74	66,217,840
計	271	103,305,760

平成13年12月31日現在

### 寄附金申込者

平成13年10月1日から12月31日までの間に寄附金申込者は、7件、金額4,650,000円です。

ここに寄附金申込をいただきました方々のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。

(順不同・敬称略)

#### 法人役員・評議員 1件、金額1,000,000円

平井 博

#### 仁泉会会員 2件、金額800,000円

中田 勝次、林 泰三

#### 学生保護者 2件、金額1,200,000円

藤阪 保文、匿名

#### 法人等(個人、一般含む)その他 2件、金額1,650,000円

寄附者

代表者

有限会社すばる印刷

代表取締役

野村 昌男

東洋美工株式会社

代表取締役

藤川 正一郎

平成11年7月から10億円を目標額として開始しました新総合棟建築事業に係る寄附金募集は、当初の予定どおり平成13年12月末をもって一応終了いたしました。この間多数の皆様方からご協賛を賜り厚く御礼申し上げます。この御寄附は、ご芳志に副い、附属病院新総合棟建築事業資金として、有効に使用させていただきます。

残念ながら募金額は目標に達しませんでしたので、引き続き、目標額達成のため、次葉のとおり募金を継続することにしましたので、更なる募金のご支援を広く学内外の皆様方をお願い申し上げます。

大阪医科大学創立70周年記念継続事業  
新病棟建設のための  
募金のお願い

募 金 趣 意 書

大阪医科大学は、昭和2年4月開校以来70有余年の歳月に亘り、良識ある人間性豊かな臨床医の養成及びグローバル社会で活躍できる人材の養成と地域医療に貢献して参りました。これもひとえに関係各方面の皆様方の暖かいご支援の賜ものと感謝しております。

さて本学は、平成9年に創立70周年を迎え、次葉のとおり記念行事をあいすませておりますが、予てより懸案の記念事業としまして附属病院新病棟（7号館）の建設を平成14年6月から着工することにしました。完成後は、本学の教育・研究・診療水準を向上させると共に地域医療にも更なる貢献が出来得るものと確信しております。

この事業に係る建設費用は、60億円を要し、そのうち10億円を皆様方からの募金でまかなう所存で、すでに学生の保護者、卒業生、白友会会員（看護専門学校卒業生）、本学関係者はもとより関係企業等にご支援をお願いし、これまでに1億1千万円余りのご協賛をいただいておりますが、残念ながら目標額に達しておりません。

つきましては、記念継続事業（新病棟建設）達成のための更なる募金のご支援を広く各位、各界をお願い申し上げる次第であります。現下厳しい経済情勢の折、何卒本学の意をお汲とり戴き、ぜひとも募金にご賛同、ご協力賜わりますよう伏してお願い申し上げます。

平成14年1月吉日

学校法人 大阪医科大学

理事長 田中 忠彌

学 長 島田 眞久

病院長 植木 實



## 『 記 念 行 事 』

## 1. 創立70周年記念式典・記念講演会の開催

平成9年10月4日(土)高槻現代劇場大ホールにおいて記念式典、記念講演会を催しました。

記念式典(14:00~15:20)

開式の辞	理事・実行委員長	吉田 康久
国歌斉唱	大阪医科大学グリークラブ	
関係物故者への黙禱		
式 辞	理 事 長	田中 忠彌
挨 拶	学 長	藤本 守
祝 辞	文部大臣	町村 信孝
	厚生大臣	小泉 純一郎
	日本私立医科大学協会会長	塚原 勇
	大阪府医師会会長	植松 治雄
	高槻市長	江村 利雄
閉式の辞	理 事	美濃 眞

記念講演会(15:30~16:10)

演 題	「国際医療協力」	
講 師	元外務大臣・衆議院議員	中山 太郎 博士

## 2. 大阪医科大学70年史を出版しました。

## 3. 市民公開講座の開催

平成11年度から本学において、市民公開講座を定期的に行っています。

平成12年度市民公開講座を次のとおり開催しました。

開 催 日 時	テ ー マ	所属・職名	氏 名
平成12年5月20日(土) 午後2時~3時30分	糖尿病について	第1内科教授	花房 俊昭
平成12年6月17日(土) 午後2時~3時30分	糖尿病性網膜症について	眼科教授	池田 恒彦
平成12年7月15日(土) 午後2時~3時30分	高血圧症について	第3内科教授	北浦 泰
平成12年9月16日(土) 午後2時~3時30分	更年期障害について	産婦人科助教授	後山 尚久
平成12年10月21日(土) 午後2時~3時30分	アトピー性皮膚炎	皮膚科助手	除 信夫
平成12年11月18日(土) 午後2時~3時30分	健康とビタミン	小児科教授	玉井 浩
平成13年1月20日(土) 午後2時~3時30分	ヘリコバクター・ピロリと 消化器疾患	第2内科学内講師	梅垣 英次
平成13年2月17日(土) 午後2時~3時30分	スギ花粉症の治療	耳鼻咽喉科教授	竹中 洋

## 『 記念事業計画 』

### 1. 附属病院新病棟（7号館）の建設

多様化する医療ニーズと21世紀にふさわしい医療教育・研究・診療に対応するため、新病棟（7号館）を建設します。工事概要は下記のとおりです。（平成14年6月着工、平成16年5月竣工、建設事業費60億円）

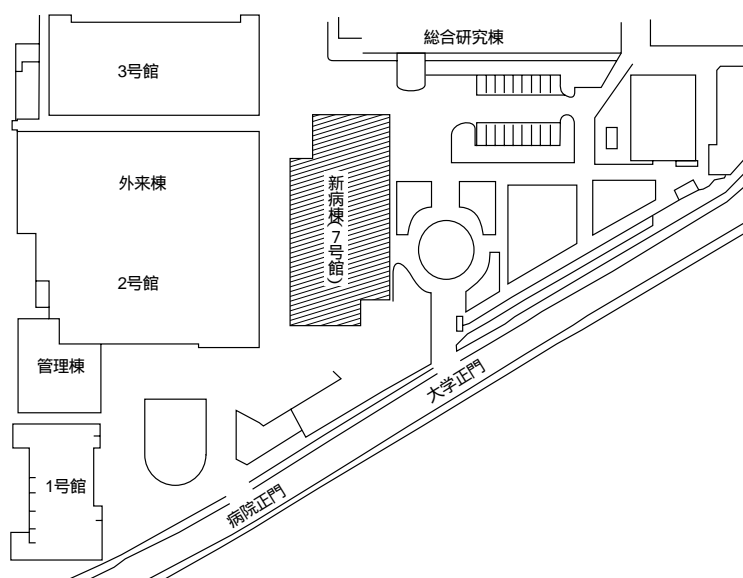
## 『 新病棟(7号館)建設事業の概要 』

### [ ] 基本理念

- (1) 急性期特定機能病院への対応  
循環器センター、糖尿病センター、消化器内視鏡センターなど急性期特定機能病院に必要な診療ユニットを新設し、患者様本位の医療を目指す。
- (2) 臓器別内科診療体系など新しい外来システムの確立  
高度先進機能病院として、より専門性の高い内科外来システムを構築する。併せて少子高齢社会における生殖器医療の確立を計る。
- (3) 教育環境および療養環境の整備  
良育成のために、学部学生や研修医に対して十分な実習スペースやカンファレンスルームを設置する。  
患者様の療養環境の充実も急務であり、大阪府下で最高レベルのものを目指す。
- (4) 新しい病院機能の付加  
治験スペースや健診スペースを病棟に設け、国民の健康増進に役立つ新分野を開拓する。
- (5) IT革命を実現した情報システムの構築  
病診・病院連携を積極的に行い患者様本位の効率的医療を地域と共有する。

### [ ] 建築計画

#### 1. 建築場所



## 2. 建物構成

階	用途	面積(m <sup>2</sup> )	備考
P1	機械室	600	
10	VIPセンター、成人病検診センター治験病棟	1,300	
9	アイ(眼)センター	1,300	* 病床数：280床 (40床×7フロアー)
8	アイ(眼)センター、糖尿病センター	1,300	
7	肺・呼吸器センター	1,300	
6	循環器センター	1,300	* 4～10階：各センター(病棟)
5	消化器センター、内視鏡外科・腹腔鏡センター	1,300	
4	短期入院センター	1,320	4～5階：短期入院病棟
3	眼科外来、産婦人科(体外受精)外来	1,320	
2	総合診療内科外来、臓器別内科外来	1,500	
1	特殊・臓器別内科外来、医事管理部門	980	* 1～3階：外来ゾーン 2階：主たる臓器別 1階：特殊その他の臓器別
B1	機械室、倉庫(収納室)	1,080	
合計延べ面積：14,600m <sup>2</sup> (約4,416坪)			

## 3. 工事期間

着工 平成14年6月

竣工 平成16年5月

## 4. 新病棟完成図



## 5. 建設などに要する経費

総額	60億円	
(内訳)	・新病棟の建設費用	45億円
	・旧建物の撤去関係費用	2億1千万円
	・2号館・外来棟の改装他費用	2億9千万円
	・設備等整備費用	10億円

## 〔 〕 資金計画

1. 自己資金	25億円	} (総額60億円)
2. 借入金(日本私立学校振興・共済事業団)	15億円	
3. 学校債	10億円	
4. 寄附金	10億円	

## 募 金 要 項

1. 募金の名称 大阪医科大学創立70周年記念継続事業新病棟建設のための募金
2. 募金目標額 10億円
3. 寄附金額 個人1口 1万円としておりますが、できるだけ多数口のご協力をお願いします。  
法人1口 10万円としておりますが、できるだけ多数口のご協力をお願いします。
4. 募金期間 個人(特定公益増進法人寄附金)  
平成14年1月1日～平成18年12月31日  
法人(特定公益増進法人寄附金)  
平成14年1月1日～平成18年12月31日  
法人(受配者指定寄附金)  
「受配者指定寄附金」の受入承認後から2年間
5. 申込方法 同封の寄附申込書に所定事項をご記入ご捺印の上、返信用封筒にてお申込み下さい。  
寄附申込書は3種類あります。個人の場合は個人の、法人の場合は特定公益増進法人寄附金か受配者指定寄附金のいずれかの用紙を選択してご使用下さい。  
法人で受配者指定寄附金として寄附いただく場合は、次々頁の手続等の流れ(概要)をご参照下さい。
6. 払込方法 同封の振込用紙より下記口座にお払込下さい。  
(誠に恐縮ですが送金手数料はご負担をお願いします。)  
振込口座

指定銀行名	種類	口座番号
三井住友銀行 高槻支店	普通	2161078
東京三菱銀行 高槻支店	普通	0070246
7. 寄附金に対する所得税等の減免税措置  
当寄附金に対しては、所得税または法人税の減免措置を受けることができます。  
減免の内容と手続は次頁記載のとおりですが、ご不明の点は募金推進室までご照会ください。
8. その他 創立70周年記念継続事業新病棟建設のための募金に5口以上御協力いただきました方のご厚意に報い、その功績を永遠に顕彰するため、新病棟(7号館)に「銘刻」を掲額いたします。
9. 募金に関する問い合わせ先  
大阪医科大学募金推進室  
〒659-8686 大阪府高槻市大学町2番7号  
TEL 0726-83-1221(内線2611)  
直通 0726-84-6344

## 寄附金に対する所得税等の減免税措置

個人、法人を問わず、当寄附金に対しては原則として減免税措置を受けることができます。個人と法人によって手続と内容が異なります。

### 1. 個人の場合

- (1) 本学は所得税法施行令第217条第1項第3号に掲げる特定公益増進法人に指定されているため、年間にご寄附いただく金額が1万円を超えた場合は、1万円を超えた分について、その年の課税所得から控除されます。但し、1年間の所得合計額の25%が限度です。
- (2) 免税の手続は、寄附された年の翌年の2月16日から3月15日の間の確定申告期間に本学からお渡しする「寄附金受領書」と「特定公益増進法人の証明書(写)」を所轄税務署に提出して確定申告を行い、所得税の還付請求をする必要があります。  
分割払込の場合は、当年の1月から12月までの1年間の寄附金合計額を単位として、翌年、確定申告していただくことになります。

### 2. 法人の場合

ご寄附いただく金額が、当該事業年度の損金に算入されますが、その内容は次の2種類あります。

#### 1) 特定公益増進法人寄附金として寄附申込された場合

- (1) 本学は法人税法施行令77条第1項第3号に掲げる特定公益増進法人に指定されているため、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、次の計算方式による額を限度に損金に算入されます。但し、資本の金額または出資金額を有しない法人並びに公益法人は、計算方式が異なりますので、募金推進室までご照会ください。

$$\left[ \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{期末資本金及び} \\ \text{資本積立金} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{事業年度月数} \\ \hline 12\text{月} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \frac{2.5}{1000} \\ \hline \end{array} \right) + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{寄附金支出前} \\ \text{の所得金額} \\ \hline \end{array} \right) \right] \times \begin{array}{|c|} \hline \frac{2.5}{100} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \frac{1}{2} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{限度額} \\ \hline \end{array}$$

- (2) 免税手続に必要な本学からお渡しする「寄附金受領書」と「特定公益増進法人の証明書(写)」をもって、申告してください。

#### 2) 支配者指定寄附金として寄附申込された場合

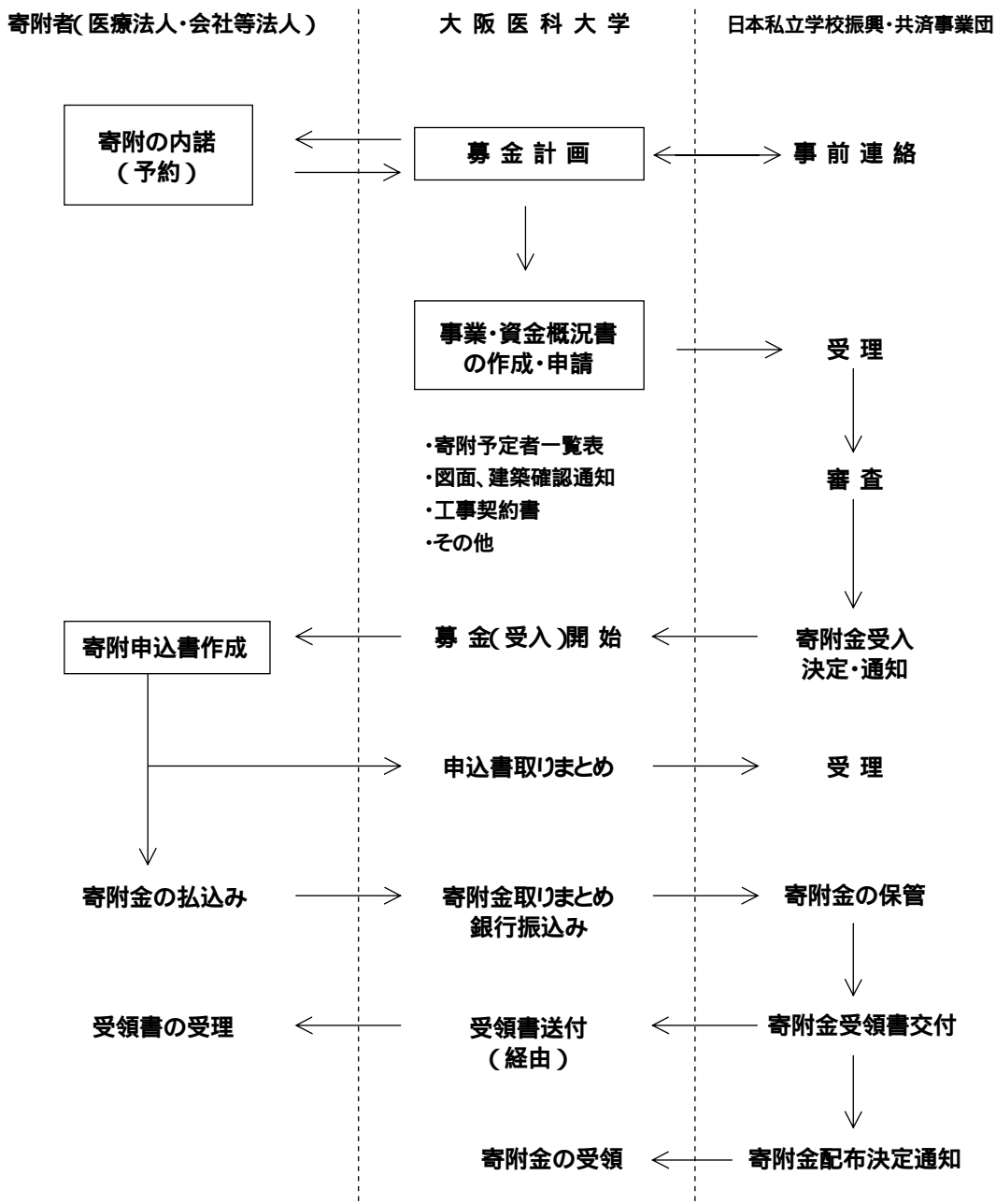
- (1) 本学は法人税法第37条第3項第2号に基づく指定寄附金として、日本私立学校振興・共済事業団の承認を受けておりますので、寄附金全額が当該事業年度の損金に算入されます。
- (2) 免税手続には、日本私立学校振興・共済事業団の「寄附金受領書」が必要となります。これに関する手続は本学がすべて行います。

### 3. 団体の場合

法人格のない団体は、減免税措置は受けられません。

手続等の流れ（概要）

「受配者指定寄附金（全額損金算入）」



## 「新病棟建設基金拡充募金委員会」

責 任 者 田中 忠彌（理事長）

委 員 長 植木 實（理事・病院長・教授）

副 委 員 長 榎林 勇（評議員・副院長・教授）

竹中 洋（評議員・副院長・教授）

大槻 勝紀（教授）

委 員 島田 眞久（理事・学長）

勢川 瑠美子（理事・看護専門学校長）

佐々木 進次郎（理事・評議員・教授）

阿部 宗昭（評議員・学生部長・教授）

清金 公裕（評議員・図書館長・教授）

河野 公一（教授・中山国際医学医療交流センター長）

米田 博（教授）

花房 俊昭（教授）

北浦 泰（教授）

玉井 浩（教授）

谷川 允彦（教授）

黒岩 敏彦（教授）

勝岡 洋治（教授）

池田 恒彦（教授）

島原 政司（教授）

清水 章（教授）

森 秀磨（教授）

富士原 彰（教授）

上田 陽彦（助教授）

豊田 昌夫（助教授）

神谷 美佐子（評議員・看護部長）

岩本 暢泰（法人企画室室長代理兼施設計画事業本部事務部長代理）

成松 正治（人事課長）

大槻 哲彦（財務課長）

川浪 廣子（栄養給食課長）

募金推進室 西田 伸忠（課長）

大阪医科大学創立70周年記念継続事業  
新病棟建設のための募金  
寄附申込書(個人用)

平成 年 月 日

学校法人 大阪医科大学  
理事長 田中忠彌 殿

住所

氏名



貴学の募金事業の趣旨に賛同し、下記のとおり寄附を申します。

寄附金額				百万				千			円
払込方法	一括払・分割払										
払込 予定日	一括払	平成	年	月	日	円	平成	年	月	日	
	分割払	金				円	平成	年	月	日	
		金				円	平成	年	月	日	
		金				円	平成	年	月	日	
通信欄											

以下は記入しないでください

受付番号	受付年月日		
	年 月 日		



大阪医科大学創立70周年記念継続事業  
新病棟建設のための募金  
寄附申込書(法人用)

平成 年 月 日

学校法人 大阪医科大学  
理事長 田中忠彌 殿

寄附申込者 〒

住 所

法 人 名

代表者名



貴学の募金事業の趣旨に賛同し、下記のとおり寄附を申込します。

寄 附 金 額				百万				千			円
払 込 方 法	一括払・分割払										
払込 予定日	一括払	平成	年	月	日	円	平成	年	月	日	
	分割払	金				円	平成	年	月	日	
		金				円	平成	年	月	日	
		金				円	平成	年	月	日	
通信欄											

以下は記入しないでください

受付番号	受付年月日		
	年 月 日		

(受配者指定)

## 寄 附 申 込 書 ( 法 人 )

私立学校法第3条に規定する学校法人が設置する学校教育法第1条に規定する学校の教育に必要な費用若しくは基金に充てるための受配者指定寄附金として、下記のとおり寄附を申し込みます。

平成 年 月 日

日本私立学校振興・共済事業団

理事長 國 岡 昭 夫 殿

寄附申込者 〒

住 所

法 人 名

代表者名

印

- |            |                               |       |
|------------|-------------------------------|-------|
| 1. 寄附金の額   | 金                             | 円     |
| 2. 寄附金払込期日 | 平成                            | 年 月 日 |
| 3. 希望事項    |                               |       |
| (1)指定学校名   | 学校法人 大阪医科大学                   |       |
| (2)寄附金の使途  | 大阪医科大学創立70周年記念継続事業新病棟建設のための資金 |       |
| (3)その他     |                               |       |

(注1) 医療法人・会社等の法人の場合は、必ず代表者印を押印してください。

(注2) 受配者(学校法人)を経由して提出してください。

平成13年度（第 回）学位記授与

平成13年度第 回学位審査には、大学院医学研究科修了による者および論文提出による者の申請があり所定の審査が行われました。

その結果、平成13年12月5日をもって22名が合格し、12月7日（金）午後2時から第2会議室において学位記授与式が行われました。

番 号	氏 名	論 文 題 名
甲第620号	荒谷 泰三	<b>Usefulness of Tc-99m MIBI SPECT in predicting multidrug resistance gene expression level in non-small cell lung cancer</b> - a preliminary report - (非小細胞肺癌における多剤耐性遺伝子の発現レベル予測におけるTc-99m MIBI SPECTの有用性)
甲第621号	結城 雅子	全肝ダイナミックMRIにおける至適撮像法の検討 - テスト注入法およびSmartPrep法の有用性 -
甲第622号	山内 宏哲	大腸粘膜内腫瘍の異型度とGABAおよびGAD65の発現との関連
甲第623号	土田 隆雄	<b>USEFULNESS OF NUMAN HEART FATTY ACID BINDING PROTEIN AS A NOVEL BIOCHEMICAL INDICATOR FOR EARLY DETECTION OF MYOCARDIAL DAMAGE IN CARDIAC SURGERY</b> (心臓手術における心筋傷害早期判定のための新しい生化学的指標としてのヒト心筋型脂肪酸結合蛋白の有用性)
甲第624号	大原 英嗣	<b>Immunocytochemical Demonstration of Glucose Transporters in Epiphyseal Growth Plate Chondrocytes of Young Rat in Correlation with Autoradiographic Distribution of 2-deoxyglucose in Chondrocytes of Mice</b> (幼若ラット成長軟骨細胞におけるグルコーストランスポーターの免疫組織化学的研究：オートラジオグラフィーによる2-デオキシグルコースのマウス軟骨細胞における分布との関連性について)
甲第625号	橋本 恵介	<b>Co-overexpression of DEAD box protein rck/p54 and c-myc protein in human colorectal adenomas and the relevance of their expression in cultured cell lines</b> (ヒト大腸腺腫におけるDEADボックス蛋白rck/p54蛋白とc-myc蛋白の発現様式と、培養細胞系における両蛋白の発現の関連性について)
甲第626号	石黒 大三	日本人の <i>Helicobacter pylori</i> 感染者における胃癌発生の危険因子の検討 - HLA抗原タイピングの面から -
乙第905号	福原 雅之	<b>Adenovirus vector-mediated gene transfer into rat retinal neurons and Müller cells in vitro and in vivo</b> (アデノウイルスベクターを用いたラット網膜への遺伝子導入)
乙第906号	岩本 勇作	<b>Multiple Pathways of Angiotensin I Conversion and Their Functional Role in the Canine Penile Corpus Cavernosum</b> (イヌ陰茎海綿体におけるアンジオテンシンの変換経路とその生理的意義)
乙第907号	卞 勝人	ラット血管柄付同種皮弁移植におけるFTY720による生着延長

番 号	氏 名	論 文 題 名
乙第908号	田中 正剛	<b>Medium-chain fatty acids stimulate interleukin-8 production in Caco-2 cells with different mechanisms from long-chain fatty acids</b> (中鎖脂肪酸は腸上皮細胞(Caco-2細胞)におけるInterleukin-8産生を長鎖脂肪酸とは異なった機序で刺激する)
乙第909号	瀬川 直樹	<b>Phosphorylation of Mitogen-activated Protein Kinase is Inhibited by Calcitonin in DU145 Prostate Cancer Cells</b> (前立腺癌細胞株DU145においてMAPK活性はcalcitoninにより抑制される)
乙第910号	梁 玉敏	<b>The Use of Selective Brain Hypothermia in Dogs with Cold Brain Injury</b> (犬凍結脳損傷モデルにおける選択的冷却法の脳保護効果に関する研究)
乙第911号	南里 昌史	エタノール胃粘膜傷害と障害治癒における一酸化窒素(NO)の関与と役割 - 胃粘膜血流および胃粘液から -
乙第912号	小島久美子	モルモット胃幽門腺粘液細胞においてcAMPが増強したCa <sup>2+</sup> 調節性粘液開口放出反応
乙第913号	萱沢 正伸	<b>Lactoferrin in whole gut lavage fluid as a marker for disease activity in inflammatory bowel disease: comparison with other neutrophil-derived proteins</b> (炎症性腸疾患の疾患活動性のマーカーとしての腸管洗浄液中ラクトフェリン：他の好中球顆粒成分と比較して)
乙第914号	川部伸一郎	<b>Adenovirus-mediated p16<sup>INK4a</sup> gene expression radiosensitizes non-small cell lung cancer cells in a p53-dependent manner</b> (肺非小細胞癌におけるp16アデノウイルスのp53依存性放射線増感効果に関する検討)
乙第915号	大石 泰男	一地域における病院外心停止症例の疫学的研究
乙第916号	井山 峰一	Streptozotocin糖尿病ラットにおける高脂血症と脂肪吸収に関する形態的・機能的検討
乙第917号	三嶋 隆之	<b>Effects of Long-Term Therapy With Bosentan on the Progression of Left Ventricular Dysfunction and Remodeling in Dogs With Heart Failure</b> (イヌ心不全モデルにおけるbosentan長期投与の左室機能不全およびリモデリングの進行に対する影響)
乙第918号	福田 吉彦	<b>Cell Death and Proliferation in Nd-YAG Laser, Electrocautery, and Scalpel Wounds on Mice Skin</b> (Nd-YAGレーザー、電気メスおよび外科用メスのマウス皮膚切開創における細胞死と増殖)
乙第919号	范 国康	<b>Eosinophilic apoptosis in sinus mucosa Relationship to tissue eosinophilia and its resolution in allergic sinusitis</b> (副鼻腔粘膜における好酸球のアポトーシス：アレルギー性副鼻腔炎における好酸球動態との関連)

## 文部科学省科学研究費補助金・学術奨励金について

### 平成13年度 科学研究費補助金基盤研究(C)の決定について

研 究 課 題	所属・職・氏名	決定金額
心筋梗塞後の病態生理における組織レニン・アンジオテンシン系の役割	薬理学教室 助手・金 徳男	140万円
拡張型心筋症患者の心臓移植摘出心と実験的心筋炎後心筋症におけるウイルス病因の研究	第3内科学教室 診療助教授・出口 寛文	200万円

### 平成14年度 科学研究費補助金の申請状況について

平成14年度科学研究費補助金には、計179件の申請がありました。  
内訳は右表のとおりです。

研究種目等	審査区分等	件 数
特定領域研究	公募	8
基盤研究(B)	一般	20
	海外学術調査	1
基盤研究(C)	一般	72
	企画調査	1
萌芽研究		44
若手研究(A)		4
若手研究(B)		29
計		179

### 第10回研究奨励助成金(財団法人 小野医学研究財団)

研 究 課 題	所属・職・氏名	決定金額
細胞内におけるスフィンゴ脂質生合成の制御機構の解明	医化学教室 助手・生城 浩子	100万円

### 平成13年度研究奨励金(研究助成)(財団法人 上原記念生命科学財団)

研 究 課 題	所属・職・氏名	決定金額
スフィンゴ脂質生合成経路の律速酵素であるセリンパルミトイルトランスフェラーゼの立体構造解析と活性調節機構の解明	医化学教室 助手・生城 浩子	200万円

### 地域研究開発促進拠点支援事業(研究成果育成型)(科学技術振興事業団)

研 究 課 題	所属・職・氏名	決定金額
腫瘍切除ロボットの開発 蛍光標識により脳腫瘍を自動検知ならびに切除する装置	脳神経外科学教室 講師・梶本 宜永	200万円

### 職場紹介

### 病院医療相談部

平成13年5月1日より、従来からおかれていました「病診連携室」と「ケースワーク」の仕事を統一して行う「病院医療相談部」が設置されました。これは、患者様や地域の医療機関の皆様へのサービスを、今までより更にきめ細かく行い、当院をご利用いただく皆様のお役に立てていただくために設置されたものです。現在の業務内容は、地域の医療機関の皆様へのサービスを行う「病診連携」の仕事と、いろいろな面でお困りの患者様のご相談に乗らせていただくとともに、問題の解決にむけて援助させていただく「ケースワーク」の仕事が中心になっております。業務の内容につきましては次頁の業務一覧表をご覧ください。

大学病院は、患者様に高度な医療を提供させていただくことで皆様のご支持をいただいておりますが、ともしれば患者様や地域の

医療機関の皆様に対するサービスが不十分であるのご批判をいただくこともございます。私どもの病院では、今までも患者様や地域の医療機関の皆様へのサービスに努めてまいりましたが、まだまだ不十分な点もございました。今後、可能な限り、患者様や地域の医療機関の皆様へのサービスを改善し、皆様のご要望にお応えしたいと考えております。とくに、病院の医療内容を皆様にわかりやすくすること、および、ご紹介患者様のスムーズな受診を可能にすることに力を注いでまいります。それによって、地域の医療機関の皆様から、今まで以上にお気軽に患者様を御紹介いただくと共に、大学病院での治療を終了された患者様には、また元の医療機関に速やかに御紹介させていただけるよう、システムを改善してまいりたいと存じます。



**ま**た、患者様やご家族の方々にとりましては、思いがけず病気になられますと、医療費のことや、生活のこと、そして病気に対する不安など、いろいろなご心配ごとが起こってまいります。そこで、医療相談部のケースワーク担当者は、そのような患者様やご家族の方々の不安・悩み・心配ごとのご相談にのり、問題の解決を一緒になって考え、援助させていただくことに力を注いでおります。ケースワーカーは、じっくりと時間をかけて、患者様、ご家族の皆様のお話をおうかがいし、お一人お一人の事情に応じて最適の解決手段を考え、援助させ

ていただきます。こんなことを話しても仕方がないだろう、と思われるような、どのような些細なことでも結構です。お困りのことがございましたら、一度お話をうかがわせていただきますので、どうぞ遠慮なく、何なりとご相談下さいませようお願いいたします。

**発**足したばかりでまだ慣れない点多々あることと存じますが、部員一同、使命感に燃え、何とか皆様のお役に立ちたいと仕事に励んでおりますので、何卒よろしく願い申し上げます。

(文責 花房)

**「病診連携」におきましては、とくに次の点に力を注いでおります。**

- ・ 地域の医師会および医療機関との病診連携の推進
- ・ 地域医療機関からの初診紹介患者様の予約、受付、カルテ作成
- ・ 関連医療機関（紹介元、紹介先）の登録、更新
- ・ 関連医療機関（紹介元、紹介先）への速やかなご返事
- ・ 本院宛専用の診療情報提供書（紹介状）封筒の配布
- ・ 転院先等への診療情報提供書等のFAX送信
- ・ 本院の診療体制、各科の特色等の一覧表の作成、管理、および関連機関への配布

**「ケースワーク」におきましては、とくに次のような問題のご相談に応じております。**

- ・ 医療費や生活費などの経済的な問題のご相談
- ・ 介護保険についてのご相談
- ・ 在宅医療についてのご相談
- ・ 身体障害者手帳や年金のご相談
- ・ ご家族のことで悩んでおられる方のご相談

## Vanderbilt大学に留学して

放射線医学教室 助手 小森 剛

2000年10月から2001年11月まで、米国のVanderbilt大学に最新の臨床医学を学ぶために留学しました。Vanderbilt大学は、アメリカのテネシー州のナッシュビルという街にある歴史のある総合大学です。1875年に創立された医学部の建物は、レンガ造りの物が多く趣のある建物です。メディカルセンターの評価は、がんセンターが全米で1位にランクされるほどの高水準です。Vanderbilt大学病院は、約800床です。

Vanderbilt大学を留学先に決めたのは米国核医学会誌の編集委員長のDr. Sandlerがおられることが第1にあげられると思います。またCTとSPECTを組み合わせた装置（GE社製、Hawkeye）も臨床応用されていること、専用のポジトロン断層装置（PET）が臨床応用されていることも大きな要因だと思います。

最初の1ヶ月はオリエンテーションのために核医学診断部とPET診断部と、となりの在郷軍人病院の核医学診断部を1週間ずつ見学させていただきました。それから後は部屋を与えていただいたのがPET診断部ということもあって、おもにPET診断部でレジデント（日本では専門医をとる前の先生）の先生と一緒に、診断に必要な資料（過去の画像診断、レポートなど）を集めたりしてお手伝いをしながら見学しました。米国ではレジデントがまず診断し、それを後で一緒に指導医とみるのが普通でした。その後にレジデントがレポートを録音するというシステムです。レポートは、コンピュータに入れられ、それをどのドクターでも見ることが出来るので、その後の手術所見や病理所見を知るのにカルテを引っ張り出さなくて済み、とても便利でした。

PET検査はすべてF-18 FDGを使い、ほとんどが癌の症例で病期分類、再発の評価が主でした。約1割は手術前のてんかん患者の焦点同定のための検査でした。Vanderbilt大学に導入されているPET専用機はGE社製のアドバンスという装置で、最小5ミリの癌まで検出できるというすぐれた装置のため、CTやMRIで診断しにくいものも非常に明確に診断できました。CT、MRIでの見落としも結構多く、これからはこころして診断しなければと思いました。CTとSPECTを組み合わせた

装置は、解剖学的な位置がわかりにくいシンチグラフィであるI-131や、オクトレオチドなどの画像を重ね合わせてより正確に診断していました。

また、カンファレンスは朝に開かれ、核医学が月曜日、肝臓外科との合同カンファレンスは水曜日、PETが木曜日、抄読会が金曜日にありました。また月に一度、朝7時から内分泌外科との合同カンファレンスと、循環器内科との合同カンファレンスと、てんかんをみている神経グループとのカンファレンスがありました。レジデントのための昼の講義は毎日12時から1時までおこなわれており、みんなランチを持参してカンファレンスルームに集まってきます。この講義は基礎的なことから最新の物まであらゆる放射線医学関係のものがあり、大変勉強になりました。講義中にレジデントが指名され教官と1対1で質問に答えるというやり方が普通でした。これは将来の専門医試験のためのトレーニングだそうです。講義は常勤の放射線科医が交代でおこなっていました。放射線科には指導医が38名、レジデントが32名で、とてもスタッフが充実していました。



送別会にて：左からDr. William, Dr. Sandler, 筆者, Dr. Habibian, Dr. Delbeke

核医学の部門にはDr. Sandler, Dr. Martin, Dr. Delbekeの3人の先生がおられ、皆さんとてもよく指導して下さいました。Dr. Sandlerは、放射線科全体のトップであるにもかかわらず、朝早くから来て検査のために患者さんから問診をとったりされておりとても感心しました。私のおもな仕事は最初にPETの教科書の1章（大腸癌の項目）の



執筆を共同でおこない、その後、心臓核医学と、腫瘍核医学のテーマをいただいて臨床研究をおこないました。

日本の放射線科では、悪性腫瘍の患者さんを担当することが多く、個人的にホスピスに興味があったこともあり、知り合いの先生の紹介で米国でも3番目に歴史のあるというホスピスを見学できました。とても開放的でゆったりとした施設で独立採算性で経営が成り立っているということでした。

週末は休みなので、家族でショッピングや映画に行ったり、子供の幼稚園で知り合いになったアメリカ人の家族とバーベキューをしたりして過ごしました。

Vanderbilt大学で学んだことを、大阪医大で生かせるように今後も頑張りたいと思います。

最後に、このような素晴らしい留学の機会を与えていただいた榊林教授、私の留学により業務の負担が増すにもかかわらず快く送りだして下さった教室の先生方、スタッフの皆様にごころから感謝いたします。



レジデントと共に：左から David, 筆者, Michael, Creed

## 教職員の受賞について



### 日本脳腫瘍カンファランス優秀ポスター賞受賞

日本脳腫瘍カンファランスポスターセッションにおいて優秀な成績を収めたポスターの作成者に贈られる日本脳腫瘍カンファランス優秀ポスター賞の授賞式が、12月3日(月)に大分県で開催された第10回日本脳腫瘍カンファランスの中で行われ、脳神経外科学教室の梶本宜永講師が最優秀との評価を受け、受賞されました。

## 公式ホームページリニューアル

法人公式ホームページが、各部署からの積極的かつ時機を得た情報発信と、利用者の立場に配慮したサイト設計を目指し、平成13年11月1日(木)をもってリニューアルされました。

なお、リニューアルに伴い、ホームページのアドレス(URL)が下記のとおり変更されました。

新URL <http://www.osaka-med.ac.jp>

OMC 大阪医科大学

[ENGLISH]

<b>大学紹介</b>	<b>附属病院</b>
理事長からのご挨拶 学長からのご挨拶 医学部医学科 大学院医学研究科 歴史と沿革 大学広報(雑誌・学報) 自己点検・評価 キャンパスマップ 交通アクセス	院長からのご挨拶 歴史と沿革 外来受診のご案内 入退学のご案内 各科診療のご案内 臨床研修医募集要項 交通アクセス
<b>入学試験情報</b>	<b>各教室・部署・委員会作成のHP</b>
医学部医学科 大学院医学研究科 看護専門学校 看護専門学校	基礎医学・社会医学系教室 臨床医学系教室 さわらぎキャンパス 国際医療院 委員会 医師会等関連団体
<b>市民公開講座</b>	<b>附属教育研究施設</b>
附属院内 過去の講座内容	臨床試験センター LDセンター
<b>図書館</b>	<b>附属看護専門学校</b>
図書館ホームページ	学校長からのご挨拶 歴史と沿革 附属看護専門学校 入学試験情報 交通アクセス
<b>国際交流</b>	<b>その他の情報</b>
これまでの実績 中山国際医学医療交流センター	大阪TLO 学内向けサービス 学生向けサービス BULLETIN OF OMC お知らせ
<b>採用情報</b>	
看護職員募集のお知らせ	

このページは、本学ホームページ委員会によりオンライン化されたものです。  
お問い合わせやご意見は、[hp-info@poh.osaka-med.ac.jp](mailto:hp-info@poh.osaka-med.ac.jp)までご連絡下さい。

## 平成13年度 市民公開講座

平成13年度市民公開講座が下記のとおり開催されました。

### [ 第4回 ]

10月16日(火) 午後2時～

高槻市生涯学習センター

『園生活で援助の必要な子供たち』

1. 「子どもと楽しくコミュニケーションするために  
療育者の立場から」

講師 大阪府立大学 社会福祉学部 里見 恵子

2. 「気づいてね、小さな心のSOS  
心療小児科医の立場から」

講師 本学 小児科学 金 泰子



### [ 第5回 ]

11月17日(土) 午後2時～

臨床第1講堂

『増加している肺がんの診断と治療の現況』

司会 本学 放射線医学 教授 榎林 勇

1. 「肺がん治療の現況」  
講師 本学 放射線医学 教授 榎林 勇
2. 「北摂地区における肺がんの発生状況と将来予測」  
講師 藍野病院副院長 福田 泰樹
3. 「たばこと肺がん 禁煙のすすめ」  
講師 本学 第1内科 講師 関 庚燁
4. 「肺がんの外科療法

手術前後に気をつけること」

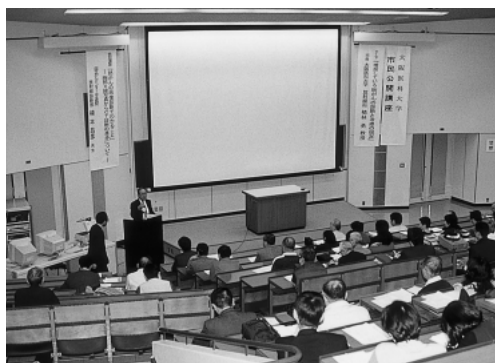
講師 北摂総合病院 呼吸器外科部長 立花 秀一

特別講座「肺がん画像診断でわかること

胸部X線写真からCT診断の進歩について」

講師 国立がんセンター中央病院放射線診断部

楠本 昌彦



### [ 第6回 ]

12月15日(土) 午後2時～

臨床第1講堂

『うで(肩から手まで)の痛み』

講師 本学 整形外科学 教授 阿部 宗昭

『お薬について』

講師 附属病院薬剤部



### 年賀交歓会開催



恒例の年賀交歓会が、1月4日（金）午後1時から第9会議室において、理事長、学長、病院長をはじめ、教職員約100名が出席して開催されました。

### 平成13年度実験動物慰霊祭



平成13年度実験動物慰霊祭が、12月1日（土）午後1時から講義実習棟第1講義室において、たくさんの方々および教職員の参列のもと執り行われました。

### 関連病院長会総会開催



平成13年度大阪医科大学関連病院長会総会が、11月15日（木）午後3時から、たかつき京都ホテルにおいて、島田学長、阿部学生部長、植木病院長、榎林副院長、竹中副院長はじめ各教授、各関連病院長ら関係者約100名の出席のもと開催されました。

総会では、島田学長の開会挨拶に続き、植木病院長の平成13年度経過報告他が行われた後、下記のとおり特別講演が行われました。

#### [特別講演]

『平成16年度以降の臨床研修について』

厚生労働省 医政局  
医事課長 中島 正治

### 院内コンサート開催



本学グリークラブ、本学管弦楽同好会、高槻混声合唱団エスポールの共催による院内コンサートが附属病院外来ホールにおいて11月24日（土）午後2時から開催されました。来聴者の心には、美しい音色が響いたことでしょう。

# 会議・行事予定

## 主要会議とその主な議題

11月1日から1月31日までの主要な会議とその主な議題は次のとおりです。

[ 理事会 ]

( 11月13日 )

審議事項

1. 学校法人大阪医科大学顧問の委嘱について
2. 理事の内部規律に関する内規の制定について
3. 学校法人大阪医科大学事務組織並びに事務分掌規程の一部改正について

報告事項

1. 施設計画事業本部報告
2. 経営専門委員会報告
3. その他（学事・病院関係報告）

( 11月27日 )

報告事項

1. 平成13年度上半期収支状況報告

審議事項

1. 平成14年度予算編成について

報告事項

2. 施設計画事業本部報告
3. その他（学事・病院関係報告）

( 12月18日 )

審議事項

1. 理事の選任について
2. 監事の選任について
3. 大阪医科大学大学院学則の一部改正について

報告事項

1. 経営専門委員会報告
2. 施設計画事業本部報告
3. その他（学事・病院関係報告）

( 1月15日 )

審議事項

1. 大阪医科大学附属病院医療費割引規程の廃止について
2. 大阪医科大学附属病院医療費補助規程及び同内規の制定について
3. 学校法人大阪医科大学管理職及び専門職者任期制度に関する内規の制定について

報告事項

1. 経営専門委員会報告
2. 施設計画事業本部報告
3. その他（学事・病院関係報告）

( 1月29日 )

審議事項

1. 大阪医科大学附属病院医療費補助規程及び同内規の制定について
2. 学校法人大阪医科大学管理職及び専門職者任期制度に関する内規の制定について

報告事項

1. 施設計画事業本部報告
2. その他（学事・病院関係報告）

[ 臨時評議員会 ]

( 12月18日 )

報告事項

1. 評議員及び理事並びに監事の退任について

審議事項

1. 理事の選出について
2. 監事の選任について

報告事項

2. 新総合棟（病院7号館）建築について

[ 教授会 ]

( 11月7日 )

1. 人事に関する件（助教授の任用他）
2. 図書館長選出に関する件
3. 麻酔科学講座担当教授選考に関する件
4. 講座制の基本的考え方の学長試案
5. カリキュラムの一部変更に関する件
6. その他

1) 附属病院血液浄化センター長（講師または助教授）候補者の公募について

2) 教務委員会共用試験実施部会の設置について

3) PBLチュートリアルによる総合カリキュラムについて

4) 日本私立医科大学協会卒前医学教育研究会からの要請による「卒業試験問題のデータベース化」について

5) 平成13年度奨学生（本学・仁泉会）の推薦について

6) 診療科教授制について

7) 教員の職制（有給者以外）について

8) 救急医療部の専任医師の増員について

9) 新入生学外合宿企画実行委員会委員の変更及び追加委嘱について

(11月21日)

1. 人事に関する件(学内講師の任用他)
2. 図書館長選出に関する件
3. 講座制の基本的考え方の学長試案に関する件
4. その他
  - 1) 平成14年度授業時間割編成について
  - 2) 卒業判定方法の変更について
  - 3) 救急医学カリキュラム作成委員会委員長の変更について
  - 4) 救急医療部の今後の運営方針について
  - 5) 機器共同利用センターに関する報告と起案について
  - 6) 教員の任期制委員会委員の追加委嘱について

(12月5日)

1. 人事に関する件(学内講師の任用他)
2. 教員の任期制委員会委員長の委嘱に関する件
3. その他
  - 1) 教員の適正配置について
  - 2) 図書館長の選出について
  - 3) 附属病院長選挙について
  - 4) 卒業判定方法の変更について
  - 5) 学校法人大阪医科大学附属病院血液浄化センター規程の一部改正について
  - 6) 臨床実習前試験委員会委員の変更について
  - 7) 第3学年学生の休学願出に関する件

(12月19日)

1. 人事に関する件(助教授の任用他)
2. 附属病院長選挙に関する件
3. 教員の適正配置委員会委員の選出に関する件
4. その他
  - 1) 平成14年度入学試験当日の総監督補佐の委嘱について
  - 2) 教務委員会共用試験実施部会委員の追加委嘱について
  - 3) 「教育ユニット(仮称)」の設置について
  - 4) 第1学年学生の休学願出に関する件
  - 5) 麻醉科学講座担当教授選考に関する件
  - 6) 血液浄化センター長の応募と選考方法について
  - 7) 図書館長候補者推薦委員会委員長の委嘱について

(1月9日)

1. 人事に関する件(助教授の任用他)

2. 第6学年卒業合否判定に関する件
3. 附属病院長選挙に関する件
4. 麻醉科学講座担当教授選考に関する件
5. その他

- 1) PBLチュートリアル教育の導入について
- 2) 図書館長候補者の推薦について
- 3) 附属病院血液浄化センター長選考委員会委員長の委嘱について
- 4) 附属病院血液浄化センター長の選考について
- 5) 中央手術室長の委嘱について

(1月23日)

1. 人事に関する件(助教授の任用他)
2. 平成14年度入学試験(医学部)に関する件
3. 教員の適正配置委員会委員長及び副委員長の委嘱に関する件
4. その他
  - 1) 附属病院長選挙に関する件
  - 2) 附属病院血液浄化センター長の選考について
  - 3) 附属病院血液浄化センター副センター長の委嘱について
  - 4) 麻醉科学講座担当教授選考について

[大学院医学研究科委員会]

(11月7日)

1. 研究生の願出に関する件
2. その他
  - 1) 大学院医学研究科カリキュラムの時間割変更について
  - 2) 学外研修の願出について

(11月21日)

1. 大学院医学研究科カリキュラム作成へのご協力について
2. 受験生の勧誘のお願いについて

(12月5日)

1. 中央研究施設再編委員会の発足に関する件
2. 論文審査結果に関する件
3. その他
  - 1) 研究生の願出に関する件

(12月19日)

1. 海外研修の願出に関する件
2. 論文審査可(合)否決定資料の差し替えについて

## 会議・行事予定

3. 大学院改編に伴う平成14年度大学院医学研究科（博士課程）学生募集要項（案）の承認の追加審議に関する件
4. その他
- 1) 出向医師について
- (1月9日)
1. 学外研修期間延長の願出に関する件
2. 学位論文提出のための語学試験成績結果に関する件
- (1月23日)
1. 大学院の改編に関する件
2. 中央研究施設再編委員会委員長の委嘱に関する件
3. 学位取得のための身分の整理と取得費用改訂の方針（案）
- 主な行事日程表**
- 2月1日から4月30日までの学内における主要な行事予定は次のとおりです。
- 2月5日（火） 大学院医学研究科入学試験（6日まで）
- 6日（水） 教授会・大学院医学研究科委員会
- 12日（火） 理事会
- 13日（水） 医学部入学試験〔学科試験〕（於 関西大学）
- 21日（木） 臨時教授会  
医学部学科試験合格者発表
- 23日（土） 医学部入学試験〔面接・小論文〕（学科試験合格者のみ）
- 24日（日） 第91回看護婦国家試験
- 25日（月） 教授会・大学院医学研究科委員会  
医学部入試合格者発表
- 26日（火） 理事研究会
- 3月6日（水） 教授会・大学院医学研究科委員会
- 7日（木） 大学院医学研究科入試合格者発表  
看護専門学校卒業式
- 9日（土） 第1・5学年春季休業
- 12日（火） 理事会
- 16日（土） 第96回医師国家試験（18日まで）  
第2・3学年春季休業
- 20日（水） 教授会・大学院医学研究科委員会
- 23日（土） 第4学年春季休業
- 25日（月） 医学部・大学院卒業証書・学位記授与式
- 29日（金） 第91回看護婦国家試験発表
- 30日（土） 理事会・評議員会
- 4月2日（火） 臨時教授会
- 3日（水） 入学宣誓式（医学部・大学院）
- 4日（木） 新入学生外合宿（於 亀岡ハイツ）（6日まで）
- 8日（月） 第1学年オリエンテーション  
第2学年オリエンテーション  
第6学年ベッドサイド実習開始
- 9日（火） 理事会  
看護専門学校入学式  
第2学年授業開始  
第1・3・4学年オリエンテーション
- 10日（水） 教授会・大学院医学研究科委員会  
第5学年オリエンテーション  
第1・3・4学年授業開始
- 11日（木） 第5学年ポリクリ実習・授業開始
- 23日（火） 理事研究会
- 24日（水） 教授会・大学院医学研究科委員会
- 25日（木） 第96回医師国家試験合格発表

## 本学「病院内ローソン」開店にあたって

株式会社 西 泉  
代表取締役 田中 忠 彌

皆さんにはかねてご連絡の通り、現在本学が直営で営業中の附属病院正面玄関にあります売店を、平成14年4月1日（月）をもちまして、皆さんも良くご存知のコンビニエンスストア「ローソン」に衣替え致します。またそれを機に、売店の運営管理も、本学の関連会社であります（株）西泉に移管を致します。

附属病院内の売店を、新しくコンビニエンスストア「ローソン」として開店することで、販売商品の内容や品数、そして売店としての機能を、これまで以上に充実させ、患者さん、外来の方、学生、教職員、それぞれの皆さんがより使い勝手良く、十分に満足していただける運営を目指していきたく思っております。

そこで今回は、本学「病院内ローソン」を開店するにあたって、その概要を本誌面でご紹介致します。

最初に「ローソン」という会社自体のことですが、皆さんも一度は「ローソン」を実際にご利用された経験や、また色々なCMでよく見たり聞いたりしますので、その名前は十分ご承知のことと思います。

「ローソン」の歴史は、昭和50年4月に株式会社を設立し、同年大阪豊中市に第1号店をオープンしたのに始まります。以来今日に至るまで約30年。現在では日本全国津々浦々に、店舗数は約8千店、従業員数は約4千名を抱え、年間売上高は1兆3千億円。ちなみにその売上は、毎日約35億円ある計算となります。コンビニエンス業界の草分け的存在として、目下知名度と業績の両面で、セブンイレブンと共に業界トップの座を確保している上場企業です。特に関西地区では、「コンビニと言えばローソン」と思い出されるくらいに、「ローソン」の名前は広く知れ渡っています。

しかしこの「ローソン」も、現在病院内で営業しているケースはまだまだ少ないようです。逆に今後本学のような病院内でのコンビニ営業に、各業界から関心が集まり重要視されているなか、本学の「病院内ローソン」の開店は、その先見性、話題性が、特にサービス・流通業界から注目を浴びていますし、本学の先駆者的で画期的な取り組み姿勢は、大いに歓迎されており、成功への期待を集めています。

さて次に、本学「ローソン」の実際の運営方法についてですが、開店後の当初営業時間は「午前7時から午後8時まで」を予定しています。そして営業日は「年中無休」とします。「欲しい時にはいつでも手に入る」ことが、コンビニエンスストアの最大の利便性ですが、そのニーズに極力近づけました。

また商品数は2千種類程度になる見込みです。本学の売店面積は約60平方メートルで、一般的な「ローソン」売場面積の約半分ですが、商品の種類を減らさずにすむよう陳列には工夫を凝らし、通常の「ローソン」で買える物と同じ商品を、本学の「ローソン」でも購入できるようにします。

ただし病院・学校内の「ローソン」ですから、一般店と全く同じ品揃えだけというのでは楽しみ、面白みがありませんので、狭くてもこの場所を有効に活かし、本学の「ローソン」でしか買えないような、病院・学校向けのオリジナリティーに富んだ商品も揃えます。

特に本学は大学生協がありませんので、開店後は学生の皆さんにも利用しやすい、あれば喜ばれる商品提供を企画しています。

お弁当やおにぎり、そのほか色々な飲食品は、内容・品揃え共に充実させますのでご期待下さい。各種イベントチケットの販売も取り扱う予定です。銀行のATM導入も、今後の課題として取り組んでいきます。

## 病院内ローソン開店にあたって

---

これまで、皆さんがわざわざ病院・学校の外へ出て買いに行かれていた商品を、これからは本学の「ローソン」で買い揃えられるようにし、皆さんが「確かに便利になった」と、満足していただける店作りを考えていきます。

また本学の「ローソン」が、単なる商品購買の場所というだけでなく、将来的には皆さんからの情報収集、皆さんへの情報発信基地として機能し、ここに来れば「何でも手に入る、何でも分かる場所」にしたいと思っています。

最近「ローソン」は、(株)三菱商事という日本一大きな商事会社と相互提携の友好関係を築き、この両社が協力体制を組んだことで、「ローソン」というコンビニエンスストアが、今後私達消費者に果たしてくれる役割、そして私達消費者が利用する価値は、更に拡大され、ますます高くなっていくものと思われます。

最後に、今後の本学「ローソン」開店までのスケジュールですが、本年3月16日(土)午後から改装工事に入ります。改装は3月31日(日)までに終え、明けて4月1日(月)からいよいよ新規オープンです。その間約2週間、売店閉店中ならびに改装期間中は、皆さんにご不便、ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解の程よろしくお願ひします。

なお今後ローソンの開店にあたり「こんな商品を置いて欲しい」「こんな運営をしてはどうか」など、ご意見やご要望がありましたら、(株)西泉[内線：2806]まで何なりとご連絡ください。

皆さんのご協力を得まして、今般の本学病院内コンビニエンスストア「ローソン」の開店を、是非とも成功裏に導きたいと考えております。

平成14年1月15日

法人企画室 [(株)西泉担当] 磯田 洋三



## 大阪医科大学俳句会（九ノ十ノ十一月）

十三夜砂丘に月を置いて去る

塚本務人

秋分や齒朶の淋しくなりにけり

今井雄介

寄鍋といふもひとりの小鍋かな

中川一成

タリバンの鬚黒々と冬支度

梶野興三

彩かへで形の基本は奇数です

梶野香代子

秋時雨鳥のぶらんこ買ひにけり

奥田筆子

あの世へは銀河を絹の舟に乗り

吉田孝江

豆腐運ぶ船のかへりは島みかん

飯塚久子

夏休過ぎて歩幅がからつぽに

美濃 眞

馬鈴薯が好きでふ河馬が温泉にあます

宮田恵江

地芝居のほんとの月を指しにけり

山崎隆司

スロープのつけられし館文化の日（投稿）宮脇芳美



## —— 投句のお誘い ——

一般の方も投句（何句でも）して下されば、  
当句会で会員の出句と同じように選句します。  
入選句は当欄に掲載します。

宛先は

〒569-0084 高槻市沢良木町 2-41  
大阪医科大学さわらぎキャンパス

俳句会

皆様の参加をお待ちしております。

## お詫びと訂正

前回発行の50号に一部誤りがありましたので、  
お詫びし訂正致します。

P.7（人事）

採用の項の寺田哲也助手の採用年月日は10  
月1日の誤りでした。



株式会社「酉泉<sup>ゆうせん</sup>」事務所（共同利用会館2階）

株式会社「酉泉<sup>ゆうせん</sup>」は、設立（平成10年12月）から満3年を過ぎました。この間、損害保険の代理業を始めに、医療機器等の斡旋販売、病院売店経営などの業務を多角的に展開してきました。本年4月からは病院売店のコンビニエンスストア化、物流センターの立ち上げ等、さまざまなビジネスの拡大をはかり、大阪医科大学の財政に寄与できるよう努力を重ねてまいりますので、教職員、仁泉会々員、白友会々員、PA会の皆様方の今後の更なるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

（31～32頁に関連記事）

大阪医科大学学報 第51号  
発行年月 平成14年2月  
発行 学校法人 大阪医科大学  
編集・発行 総務部  
印刷 大日本印刷株式会社  
大阪医科大学ホームページ  
<http://www.osaka-med.ac.jp>